

医療行動科学 1 : 601-1-DP1・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
1年次	通年	*山口 秀紀 (歯科麻酔学)

学修目標 (GIO) と単位数	<ul style="list-style-type: none"> ・単位数：2単位 ・学修目標 (GIO)：歯科医学を学び、これから歯科医師になるにあたり先達の業績を知り、歯科医師としてのあるべき姿と社会的責任の重みを知り、将来の歯科医師としての自覚を醸成する。
担当教員	*山口 秀紀、*小方 頼昌、*卯田 昭夫、*石橋 肇、*下坂 典立、*鈴木 正敏、*青木 伸一郎、*岡本 康裕、*中村 真実、*西村 均、*木本 統、*渋谷 鑛、*伊藤 孝訓、*岡村 里香、*辻 理子、*佐々木 貴大、*田中 晃伸、*渡部 幹夫、*那須 郁夫、*寒竹 郁夫、*辻 典明、*清野 宏、*草間 弘朝、*石井 広志
教科書	スタンダード歯医学史 石井拓男、渋谷 鑛、西巻明彦 学建書院
参考図書	歯学史資料図巻 谷津三雄 医歯薬出版 医歯薬資料図巻 谷津三雄 医歯薬出版 図説歯科医学の歴史 谷津三雄 西村書店 人間学入門-医療のプロをめざすあなたに- 日本医学教員委員会 倫理・行動科学小委員会 南山堂
評価方法 (EV)	学修ユニット「医療人間学」と「医学・歯科医学史」の各評価の平均を総合評価（最終評価）とする。平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。受講態度は出席をすることが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。授業時間数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0～60点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	講義等にて不明な箇所は積極的に質問すること。 歯科医師・医師の実務経験を活かし、歯科医療に関する歴史および倫理、社会との関連について説明する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/08 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/04/08 (水) 1時限 09:00～10:30 B	オリエンテーション 松戸歯学部 理念、教育概要	<p>【授業の一般目標】 日本大学松戸歯学部で歯科医師を目指すため松戸歯学部の教育方針を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療を専門とする職業人の理念を説明できる。 3. 信頼できる社会人、医療人について説明できる。 4. 歯科医師の責務を説明できる。 5. 日本大学並びに松戸歯学部の歴史を概説できる。 6. 松戸歯学部のアドミッションポリシーが説明できる。 7. 松戸歯学部のカリキュラムポリシーが説明できる。 8. 松戸歯学部のデプロマポリシーが説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：松戸歯学部HPを閲覧する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 ④歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任 (刑事責任、民事責任、歯科医師法に基づく行政処分) を説明できる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p>	*小方 頼昌 *山口 秀紀
2020/04/15 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/04/15 (水) 1時限 09:00～10:30 B	医学史総論と歯科 医学史との関係	<p>【授業の一般目標】 医学史総論と歯科医学史との関係について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医学史の概略を古代から近代までについて学ぶ。 2. 近代歯科医学の発展の経緯について述べられる。 3. 近代歯科医学 (明治期以降) の黎明期および発展について理解する。</p>	*渋谷 鑛

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/15 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/04/15 (水) 1時限 09:00～10:30 B	医学史総論と歯科 医学史との関係	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」の年表を熟読すること。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*渋谷 鏡
2020/04/22 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/04/22 (水) 1時限 09:00～10:30 B	医学・医療の発展 に貢献した人々	<p>【授業の一般目標】 現代の医学、医療に貢献した著名な人物とその業績を知る。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 現代医学の発展に貢献した著名医の人物史について学ぶ。 2. 医学における歴史的発見をした人物の業績を知る。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」60-65pを熟読すること。 ・事前学修時間：15分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	田中 晃伸
2020/05/13 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/05/13 (水) 1時限 09:00～10:30 B	麻酔・口腔外科の 発達経緯	<p>【授業の一般目標】 麻酔・口腔外科の発達経緯について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 痛みの克服および麻酔（全身麻酔・局所麻酔）の発達史について理解する。 2. 歯科・口腔外科の発達史について理解する。 3. 医学・歯科医学の境界領域の歯科医学の未来を考察する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」38-49pを熟読すること。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*石橋 肇
2020/05/20 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/05/20 (水) 1時限 09:00～10:30 B	ワクチン受容史	<p>【授業の一般目標】 ワクチン史の概要について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 天然痘の歴史について説明できる。 2. 予防接種の歴史について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：ワクチンについて検索し、調べる。 ・事前学修時間：20分 	渡部 幹夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/20 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/05/20 (水) 1時限 09:00～10:30 B	ワクチン受容史	<ul style="list-style-type: none"> ・事後学修項目：講義ノートを再読する。 ・事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	渡部 幹夫
2020/05/27 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/05/27 (水) 1時限 09:00～10:30 B	むし歯予防デーの 制定と口腔衛生小 史	<p>【授業の一般目標】 むし歯予防デーの制定と口腔衛生小史について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. むし歯予防デー制定までの歴史的背景を学ぶ。 2. 口腔衛生の小史について理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」100-105pを熟読すること。 ・事前学修時間：10分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*山口 秀紀
2020/06/03 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/06/03 (水) 1時限 09:00～10:30 B	義歯・歯磨きと楊 枝の歴史	<p>【授業の一般目標】 義歯、歯磨き、楊枝の歴史について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. わが国固有の「木床義歯」の歴史的発達過程とその製造方法等について学ぶ。 2. 外国の義歯との比較について理解する。 3. お歯黒（鉄漿）について説明できる。 4. 江戸～明治における歯磨きラベルとその発達史について学ぶ。 5. 歯ブラシの原点について知る。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」72-76pを熟読すること。 ・事前学修時間：10分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*石橋 肇
2020/06/10 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/06/10 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学・歯科医 療に貢献した人々	<p>【授業の一般目標】 歯科医学・歯科医療黎明期の人物像について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. イーストレーキ、パーキンス、エリオットの人物像について学ぶ。 2. 小幡英之助、伊澤道盛、伊澤信平、一井正典の人物像について学ぶ。 3. 高橋孝子、高山紀斎、中原市五郎、血脇守之助、島峰 徹の人物像について学ぶ。 4. 佐藤運雄、鈴木 勝の人物像について学ぶ。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」の人名索引から行動目標に記載された人物を検索し、その項目を熟読すること。</p>	*渋谷 鑛 草間 弘朝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/10 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/06/10 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯科医学・歯科医療に貢献した人々	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	* 渋谷 鏡 草間 弘朝
2020/06/17 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/06/17 (水) 1時限 09:00～10:30 B	史料のまとめ方	<p>【授業の一般目標】 史料のまとめ方について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. グループKJ法を用いて歯科医学史料をまとめるための技法を学ぶ。 2. テーマの決め方、調査・取材の方法、まとめに用いる史料の選び方を学ぶ。 3. ラベル作り、グルーピング、表札の作り方を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：KJ法について検索し、調べる。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：講義ノート・制作物を再読する。 ・事後学修時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	那須 郁夫
2020/06/24 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/06/24 (水) 1時限 09:00～10:30 B	歯学史資料室見学	<p>【授業の一般目標】 ・事前学修項目：今までの授業内容を復習する。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：歯学史資料室の所蔵物について教科書・参考書を用いて再確認する。 ・事前学修時間：20分</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯学史資料（書籍）の見学から一次資料を見聞き、時代的な考証を加えることができる。 2. 歯学史資料（引き札）の供覧から時代的背景をのべることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 これまでの授業内容を復習する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	* 山口 秀紀 * 石橋 肇 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 中村 真実 * 岡村 里香 * 辻 理子 * 佐々木 貴大
2020/07/01 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/07/01 (水) 1時限 09:00～10:30 B	社会人マナー、松戸警察講演	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、社会人としてのマナーを理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 社会人としてのマナーを説明できる。 3. 歯科医学生に対する世間の評価について説明できる。 4. 脱法ドラッグの危険性について説明できる。 5. 夏季休暇を安全に過ごす、防犯について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：脱法ドラッグについてネット等で調べ自習する。</p>	* 山口 秀紀 * 石橋 肇 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 中村 真実 * 辻 理子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/07/01 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/07/01 (水) 1時限 09:00～10:30 B	社会人マナー、松戸警察講演	<p>・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・警察提供の実物を観察する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p>	<p>* 山口 秀紀 * 石橋 肇 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 中村 真実 * 辻 理子</p>
2020/07/08 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/07/08 (水) 1時限 09:00～10:30 B	休講 振替日：4月18日 (土) 9:00～歯科検診 (体験学習)	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、患者としての立場から受診の心理を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 受診時の患者としての心理を体験する。 3. 受診時の患者のストレスを理解する。 4. 受診時の検査者の対応を観察する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科の検診法について調べて自習する。 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・患者の体験、記録者を体験する。 講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 イ 検査の安全性 a 実施（必要性）の説明</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェSSIONナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 ⑥患者のプライバシーに配慮できる。</p>	<p>* 山口 秀紀 * 石橋 肇 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 岡村 真実 * 辻 理子 * 佐々木 貴大 * 青木 伸一郎 * 岡本 康裕</p>
2020/07/15 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/07/15 (水) 1時限 09:00～10:30 B	開業医見学の前準備	<p>【授業の一般目標】 プロフェSSIONとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、開業歯科医師の役割を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 社会人としてのマナーと態度を実施できる。 3. 診療室におけるマナーと態度を実施できる。 4. 医療スタッフ、患者との良好な関係を築くことができる。 5. 見学活動の振り返りができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：社会人として具有すべき知識についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	<p>* 伊藤 孝訓 * 山口 秀紀 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立 * 鈴木 正敏 * 中村 真実 * 辻 理子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/07/15 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/07/15 (水) 1時限 09:00～10:30 B	開業医見学の準備	有・グループディスカッションを行う。(見学実施の準備について討議) スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 d 医療チームの構成員と役割 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 c 病診連携 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1 コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法(言語的・準言語的・非言語的)を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	*伊藤 孝訓 *山口 秀紀 *卯田 昭夫 *下坂 典立 *鈴木 正敏 *中村 真実 *辻 理子
2020/07/22 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/07/22 (水) 1時限 09:00～10:30 B	平常試験1および解説講義	【授業の一般目標】 これまでの授業内容を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.これまでの授業内容について述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:今までの授業内容を復習する。 ・事前学修時間:3時間 ・事後学修項目:試験問題に対する解答を完成させる。 ・事後学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略(LS)】 その他 【場所(教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史 【コアカリキュラム】	*山口 秀紀 *石橋 肇 *卯田 昭夫 *下坂 典立 *中村 真実 *辻 理子
2020/08/26 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/08/26 (水) 1時限 09:00～10:30 B	開業医見学のまとめ	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯学部学生になるため、開業歯科医の役割を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.開業歯科医師の特徴を説明できる。 3.開業医での見学内容を客観的・批判的に統合整理することができる。 4.開業医でのデンタルスタッフの役割を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:開業医の見学ポートフォリオをまとめる。 ・準備学修時間:60分 ・事後学修項目:授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッションを行う。(見学の振り返りシートの作成) スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療(インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど) 【コアカリキュラム】	*伊藤 孝訓 *山口 秀紀 *卯田 昭夫 *下坂 典立 *鈴木 正敏 *中村 真実 *辻 理子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/08/26 (水) 1時限 09:00～10:30 A 2020/08/26 (水) 1時限 09:00～10:30 B	開業医見学のまとめ	A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ④医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ②医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明できる。 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。 A-7 社会における医療の実践 A-7-1) 地域医療への貢献 ②医療計画(医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携等)及び地域医療構想を説明できる。 ④かかりつけ歯科医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身に付ける。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学研究の重要性を説明できる。	*伊藤 孝訓 *山口 秀紀 *伊田 昭夫 *下坂 典立 *鈴木 正敏 *中村 真実 *辻 理子
2020/09/16 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2020/09/16 (水) 2時限 10:40～12:10 B	歯科医療行動科学全般の概要・プロフェッション	【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯学部学生になるため、プロフェッショナルリズムを理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療を専門とする職業人の理念を説明できる。 3. 医療職プロフェッションについて説明できる。 4. 信頼できる社会人、医療人について説明できる。 5. 医療における行動科学の範疇を概説できる。 6. 歯科医師の責務を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 開業医の見学ポートフォリオを復習する。 ・準備学修時間: 60分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナルリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療(インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ④医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ②医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明できる。 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。 A-7 社会における医療の実践 A-7-1) 地域医療への貢献 ②医療計画(医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携等)及び地域医療構想を説明できる。 ④かかりつけ歯科医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身に付ける。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性と科学研究の重要性を説明できる。	*伊藤 孝訓 *山口 秀紀
2020/09/23 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2020/09/23 (水) 2時限 10:40～12:10 B	基礎医学と臨床歯科医学との関連	【授業の一般目標】 歯科医療を行うために基礎医学修得の重要性を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科臨床を行うために必要な基礎医学に関する知識を述べることができる。 3. 基礎医学と歯科医療行為との関連性を述べるができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 本学カリキュラムを調べておく。	*木本 統 *西村 均

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/09/23 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2020/09/23 (水) 2時限 10:40～12:10 B	基礎医学と臨床歯 科医学との関連	<ul style="list-style-type: none"> 事前学修時間：20分 事後学修項目：授業配布時資料を振り返る。 事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無：スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 b 医療者の論理（ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2-2) 学修の在り方 ②得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ①生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用できる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p>	*木本 統 *西村 均
2020/09/30 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2020/09/30 (水) 2時限 10:40～12:10 B	歯科医療を支える チーム (看護師、歯科衛 生士、歯科技工士 等)	<p>【授業の一般目標】 患者中心の医療を行うために、歯科のチーム医療の重要性を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者中心のチーム医療の意義を概説できる。 3. チームの構成員（看護師、歯科衛生士、技工士等）の役割と連携を概説できる。 4. 専門職がとらえる歯科医療の特性を概説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：チーム医療についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 d 医療チームの構成員と役割</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。 ②医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。</p>	*山口 秀紀
2020/10/07 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2020/10/07 (水) 2時限 10:40～12:10 B	歯科医療を支える チーム (薬剤師、診療放 射線技師、臨床検 査技師等)	<p>【授業の一般目標】 患者中心の医療を行うために、歯科のチーム医療の重要性を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者中心のチーム医療の意義を概説できる。 3. チームの構成員（看護師、歯科衛生士、技工士等）の役割と連携を概説できる。 4. 専門職がとらえる歯科医療の特性を概説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：チーム医療についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	*山口 秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/10/07 (水) 2時限 10:40~12:10 A 2020/10/07 (水) 2時限 10:40~12:10 B	歯科医療を支える チーム (薬剤師、診療放 射線技師、臨床検 査技師等)	<p>【場所(教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 d 医療チームの構成員と役割</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。 ②医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明できる。 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。</p>	*山口 秀紀
2020/10/14 (水) 2時限 10:40~12:10 A 2020/10/14 (水) 2時限 10:40~12:10 B	付属病院見学	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯学部学生になるため、学部の付属病院の特徴を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 付属病院見学のマナーを理解する。 3. 付属病院における診療の実際を理解する。 4. 来院患者に対する配慮を実践できる。 5. 付属病院で勤務する医療職を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 付属病院のHPを閲覧する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・病院内を見学実習する。</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 a 多職種連携</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 b 医科歯科連携 d 医療チームの構成員と役割</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。 ②医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明できる。 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。</p>	*山口 秀紀 *卯田 昭夫 *石橋 肇 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *下坂 典立 *鈴木 正敏 *中村 真実 *岡村 里香 *辻 理子 *佐々木 貴大
2020/10/21 (水) 2時限 10:40~12:10 A 2020/10/21 (水) 2時限 10:40~12:10 B	医療と社会の関わり/患者中心の医療	<p>【授業の一般目標】 国民が求める安心安全な歯科医療を提供するための患者中心の医療という考えについて、その意味を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 国民の医療に対する健康意識を概説できる。 3. 高齢化に伴う疾病構造の変化を概説できる。 4. 国民のニーズの多様化を概説することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 高齢化社会の歯科医療について復習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッションを行う。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p>	*伊藤 孝訓 *山口 秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/10/21 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2020/10/21 (水) 2時限 10:40～12:10 B	医療と社会の関わり/患者中心の医療	必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど） 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ①患者の権利を説明できる。 ②患者の自己決定権を説明できる。 ③患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。	*伊藤 孝訓 *山口 秀紀
2020/10/28 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2020/10/28 (水) 2時限 10:40～12:10 B	医療と社会の関わり/歯科医師会の取り組み	【授業の一般目標】 医療人として求められる社会的役割と責任を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 地域包括ケアシステムの概念を概説できる。 3. かかりつけ歯科医等の役割を概説できる。 4. 地域における保健・医療・福祉・介護の分野、多職種間の連携の必要性を概説できる。 5. 社会における歯科医師会の役割を概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医療についてネット等で調べて自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 101教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 g 地域歯科保健活動での職種の連携 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	石井 広志 *山口 秀紀
2020/11/04 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2020/11/04 (水) 2時限 10:40～12:10 B	医療と社会の関わり/同窓会の取り組み	【授業の一般目標】 医療人として求められる社会的役割と責任を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 地域医療における歯科医療の現状を概説できる。 3. 医療従事者の健康管理の重要性を説明できる。 4. 生涯研修の重要性を概説できる。 5. 歯学部同窓会の社会貢献について概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科の社会貢献についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 101教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 g 地域歯科保健活動での職種の連携 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	*山口 秀紀
2020/11/11 (水)	社会歯科学からみ	【授業の一般目標】	寒竹 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2時限 10:40～12:10 A 2020/11/11 (水) 2時限 10:40～12:10 B	た歯科医療 1	<p>歯科医療学の発達史から未来の歯科医療について考察する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科医療学の未来について考察することができる。 2. 歯科医療の新たな展開について考察することができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：在宅歯科診療についてネット等で調べる。 ・事前学修時間：15分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無・スライド、講義内容、プリントなどの資料配布</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 13 一般教養的事項</p> <p>イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 	*山口 秀紀
2020/11/18 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2020/11/18 (水) 2時限 10:40～12:10 B	ドイツにおける歯科医学教育・歯科医療の歴史と現状	<p>【授業の一般目標】</p> <p>ドイツにおける歯科医学教育・歯科医療</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の歯科医学教育の利点・欠点を理解し論じるためにドイツの教育制度を知り、比較検討する。 2. 日本の歯科医療の利点・欠点を理解し論じるためにドイツの歴史・現状を知り、比較検討する。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」92-99pを熟読すること。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 13 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*卯田 昭夫
2020/12/02 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2020/12/02 (水) 2時限 10:40～12:10 B	社会歯科学からみた歯科医療 2	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医療学の発達史から未来の歯科医療について考察する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科医療学の未来について考察することができる。 2. 歯科医療の新たな展開について考察することができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：審美歯科についてネット等で調べる。 ・事前学修時間：15分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 13 一般教養的事項</p>	*山口 秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/12/02 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2020/12/02 (水) 2時限 10:40～12:10 B	社会歯科学からみた 歯科医療 2	イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般 教養的知識や考え方 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。	*山口 秀紀
2020/12/09 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2020/12/09 (水) 2時限 10:40～12:10 B	医療倫理について考 える/歯科医師の 責務と裁量権(事 例検討)	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を進めるために倫理事例の検証法を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療と研究における倫理的問題を概説できる。 3. 自己決定権を尊重した患者－医療者関係の在り方を説明できる。 4. 臨床倫理にともなう葛藤ジレンマの考え方を概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：医療の不確実性事象について予習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッションを行う。 講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオン など) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ①患者の権利を説明できる。 ②患者の自己決定権を説明できる。 ③患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。	辻 典明 *伊藤 考訓
2020/12/16 (水) 2時限 10:40～12:10 A 2020/12/16 (水) 2時限 10:40～12:10 B	薬害について考 える	【授業の一般目標】 医療や医薬品に関連した健康被害について知り、国民の健康管理、医療安全、 薬害防止に対する医療者の役割を認識する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 医療や医薬品のリスクを認識し、患者を守る責任と義務を自覚する。 2. 医療に関する代表的な医療過誤やインシデントの事例を列挙することができ る。 3. 医療に起因した健康被害について、その原因と防止策を説明できる。 4. 代表的な薬害例について、その原因と社会的背景およびその後の対応を説明 できる。 5. 代表的な薬害例について、患者や家族の苦痛を理解し、これらを回避するた めの手段を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：薬害についてネットで調べて自習する。 準備学習時間：30分 事後学習時間：講義ノートを参考に振り返る。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 101教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ク 医薬品・医療機器による健康被害 a 副作用・有害事象への対応 (報告義務、治療、補償) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができ る。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。	*山口 秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/12/16 (水) 2時限 10:40~12:10 A 2020/12/16 (水) 2時限 10:40~12:10 B	薬害について考える		*山口 秀紀
2020/12/23 (水) 2時限 10:40~12:10 A 2020/12/23 (水) 2時限 10:40~12:10 B	社会に望まれる歯科医師とは	<p>【授業の一般目標】 超高齢化社会を迎え、将来の歯科医師として望むべき歯科医療のあり方を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. わが国の歯科医療事情の変化を概説できる。 3. 今後求められる歯科医療の分野を概説できる。 4. 歯科医師が具有すべき臨床能力コンピテンスについて概説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：わが国の人口動態をネットで自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッションを行う。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 ③医療サービスの特殊性 (情報の非対称性・医療の不確実性) や治療の限界を説明できる。</p>	*伊藤 孝訓 *山口 秀紀
2021/01/13 (水) 2時限 10:40~12:10 A 2021/01/13 (水) 2時限 10:40~12:10 B	歯科医学における研究	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、歯科医学の研究マインドを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 研究は歯科医学の発展と患者の利益になることを説明できる。 3. 研究は患者に施行する治療の根拠となることを説明できる。 4. 研究は患者を対象とした場合、同意を得ることの必要性を説明できる。 5. EBD (エビデンスベースドデンティストリー) を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：治療の科学的根拠の重要性についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 101教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 臨床試験・治験と倫理 a 臨床研究、疾学研究の倫理指針</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。 ④科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に積極的に参加する。</p>	清野 宏 *渋谷 鏡 *山口 秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/01/13 (水) 2時限 10:40~12:10 A 2021/01/13 (水) 2時限 10:40~12:10 B	歯科医学における 研究		清野 宏 *渋谷 鏡 *山口 秀紀
2021/01/20 (水) 2時限 10:40~12:10 A 2021/01/20 (水) 2時限 10:40~12:10 B	平常試験 2 および 解説講義	<p>【授業の一般目標】 これまでの授業内容を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：今までの授業内容を理解する。 ・準備学修時間：2時間 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 101 教室</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 c 病診連携</p>	*山口 秀紀 *石橋 肇 *卯田 昭夫 *下坂 典立 *中村 真実 *辻 理子